

## 結果の要約

### 1 職業

京都府の15歳以上就業者数(1,248,020人)を職業大分類別にみると、「生産工程・労務作業」が334,923人(15歳以上就業者数の26.8%)と最も多く、次いで「事務従事者」が231,541人(同18.6%)、「販売従事者」が196,605人(同15.8%)などとなっている。平成12年と比べると、「サービス職業従事者」が13,120人(10.4%)増、「保安職業従事者」が1,121人(4.8%)増などとなっている。一方、「管理的職業従事者」が6,423人(17.8%)減、「運輸・通信従事者」が3,120人(7.4%)減などとなっている。

職業4部門別割合は、「事務・技術・管理関係職業」が35.8%と最も高く、次いで「生産・運輸関係職業」が30.0%、「販売・サービス関係職業」が28.8%、「農林漁業関係職業」が2.8%となっている。平成12年と比べると、「販売・サービス関係職業」、「事務・技術・管理関係職業」がそれぞれ0.5ポイント、0.2ポイント上昇しているのに対し、「生産・運輸関係職業」が1.5ポイント低下している。また、「農林漁業関係職業」は同率となっている。

「事務・技術・管理関係職業」	= 「専門的・技術的職業従事者」 + 「管理的職業従事者」 + 「事務従事者」
「生産・運輸関係職業」	= 「運輸・通信従事者」 + 「生産工程・労務作業」
「販売・サービス関係職業」	= 「販売従事者」 + 「サービス職業従事者」 + 「保安職業従事者」
「農林漁業関係職業」	= 「農林漁業作業」

### 2 就業時間

15歳以上就業者の平均週間就業時間は40.7時間で、職業大分類別にみると、「運輸・通信従事者」が48.3時間と最も長く、次いで「保安職業従事者」が44.7時間、「管理的職業従事者」が44.6時間などとなっている。平成12年と比べると、すべての職業大分類で減少となっている。特に、「保安職業従事者」が2.5時間減、「サービス職業従事者」が2.2時間減となっている。

### 3 夫婦の労働力状態、職業

夫婦の労働力状態をみると、夫と妻ともに就業者である夫婦が262,939組(夫婦数625,039組の42.1%)と最も多く、次いで夫が就業者で妻が就業者以外である夫婦が210,034組(同33.6%)などとなっている。また、夫と妻ともに就業者である夫婦の職業をみると、夫と妻ともに「生産工程・労務作業」である夫婦が30,119組(夫と妻ともに就業者である夫婦数の11.5%)と最も多く、次いで夫が「生産工程・労務作業」、妻が「事務従事者」である夫婦が21,887組(同8.3%)などとなっている。

### 4 従業・通学時の世帯の状況

従業・通学時の世帯の状況をみると、「通勤・通学者のみの世帯」は336,687世帯(住宅に住む一般世帯1,047,832世帯の32.1%)となっている。一方、通勤・通学者以外の世帯員がいる世帯は711,145世帯(同67.9%)で、このうち通勤・通学者以外の世帯員が65歳以上の「高齢者のみ」の世帯が232,530世帯(同22.2%)、「女性のみ」の世帯が161,664世帯(同15.4%)、「幼児と女性のみ」の世帯が56,199世帯(同5.4%)となっている。

図1 京都府の職業（大分類）別就業者数（平成12年，17年）

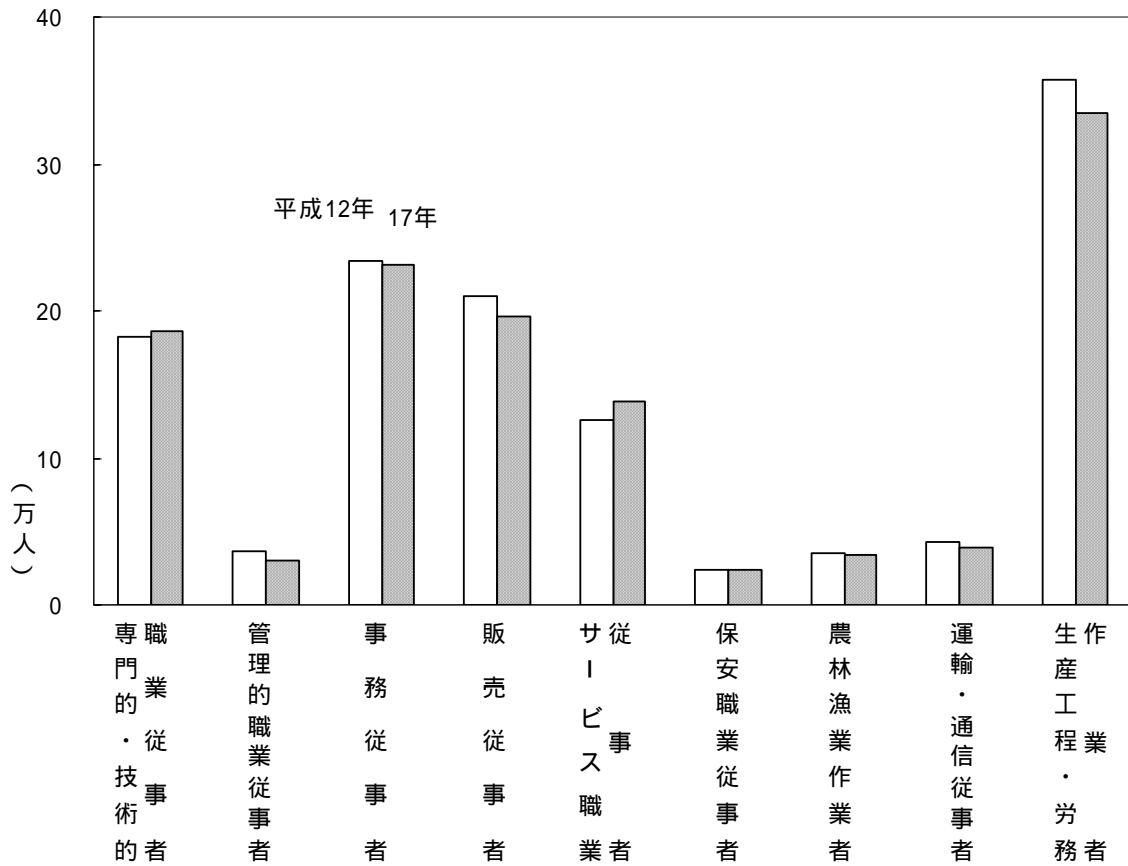


図2 京都府の職業（4部門）別割合の推移（昭和55年～平成17年）

